

ファンは世代を超えて



やなせたかし関連の絵本やおもちゃを家の中で探しました。残っていたものの一部を写真撮影しました。

「それいけ! アンパンマン」の放送が始まった 1988 年頃は、子育ての真っ最中でした。

また、2015 年頃は、孫が 2~3 年おきに誕生し、孫育ての経験もしました。

そのとき、アニメの番組や絵本がずいぶん役立ちました。我が家のテレビ

録画機には、アンパンマンの番組が数多く記録されていて、繰り返し視聴しました。

孫が小さい頃は「アンパンマンを描いて」などと言われ、アニメに登場する様々なキャラクターをスケッチブックに描いてあげました。ダダンダンはハードルが高くて、最初は描くのに時間がかかりました。それでも何回も描くうちに速くなり、アンパンマンを手で掴んでいるアレンジを加えるなど、余裕が出てきたことを覚えています。

孫たちは家族旅行で、アンパンマンミュージアムに行ったこともあります。二世代に渡ってアンパンマンのファンとしての行動が続いています。

歌に込められたこと

1988 年、アニメ「それいけ! アンパンマン」の番組のために、やなせたかしは、主題歌を作りました。冒頭の部分です。

その 3 行目は、最初「たとえ 命が終わるとしても」だったとのことでした。生きること、生命を終わることの哲学的な意味合いを含んでいました。たとえ子ども向けであっても、真剣に語りかけるやなせの真摯な姿を現しているエピソードです。

アンパンマンのマーチ
そうだ うれしいんだ
生きる よろこび
たとえ 胸の傷がいたんでも
なんのために生まれて
なにをして生きるのか
こたえられないなんて
そんなのはいやだ!
今を生きること
熱いこころ 燃える
だから 君は いくんだ
ほほえんで
そうだ うれしいんだ
生きる よろこび
たとえ 胸の傷がいたんでも
ああ アンパンマン
やさしい 君は
いけ! みんなの夢 まもるため